

# このみか 活動レポート



ごあいさつ



町議会議員の河野美華です。

平素から私の活動にご理解とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

現在、私は福祉文教常任委員会委員長として、子ども子育て支援、学校・社会教育、障がい者福祉、高齢者福祉等の充実のため、精一杯尽力しております。

初心を忘れず、皆様の声をもとに、一層取り組んで参ります。

今後ともご指導ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

## 主な活動のご報告

### ● 待機児童を発生させない

働く親にとって、希望するこども園や放課後児童クラブに子どもを預けられることは非常に大切なことです。町では、希望するこども園や放課後児童クラブの定員がいっぱいで入れず「働きたくても働けない」「子どもだけで留守番をさせなければならず心配」といった保護者の声が多数あります。議会や委員会でも、この問題を何度も取り上げ

- ・保育士やクラブ支援員の確保施策
- ・施設の増設
- ・兄弟姉妹の別園解消 など

を要望してきました。その結果、日出学区で放課後児童クラブが増設しています。今後も強い決意をもって取り組んで参ります。

### ● 性別を問わず仕事、育児・家事が両立できる社会



パパくらぶの活動

昨今、様々な要因から子どもを産んだ後も働く女性が増えていますが、依然として「男は仕事、女は家事・育児・仕事」という固定観念があります。

この性別役割分業は男女の生活のずれを大きくし、女性の育児・家事負担を増やし、自己実現の障害となって結婚や子育てへの夢を奪っている大きな原因です。仕事と家庭生活の両立を無理なくできる支援の対象が女性に偏っている限り女性の負担は軽

減されないと思っています。

近年は育児や家庭生活に重きを置くなどワークライフバランス重視の男性は増えており、育休を男性が取ることの重要性なども町へ訴えています。反応が鈍く、少子化や女性の精神的・肉体的負担は待たなしの状況だと危惧しています。

私に出来ることから行動しようと、子育てパパくらぶ「ひじっPA!」を立ち上げました。

### ● 子どもを取り巻く環境整備

現代の子どもたちの生きる力を育むには、勉強に加え体力や心、自己肯定感や将来に希望を持てるような教育や環境が必要だと思えます。

教員の負担を減らし子どもと向き合う時間を確保してもらいたいと

- ・スクールサポートスタッフの増員
- ・プログラミング教室の開催
- ・県内でも遅れていた学校 ICT 機器の環境整備
- ・長期間使用できなかった遊具の速やかな取付けなど

を要望し、実現してきました。

コロナ禍において最も影響を受けているのは子どもたちです。これまで以上に、子ども自身のことを一番に考えた上での支援に取り組んで参ります。



プログラミング教室の様子

## ● 障がい者・児福祉の充実

障がい者本人はもちろん、全てを抱え込んでいるご家族への支援がとても大切だと考えています。

これまで要望し実現した主な取り組みは

- ・ 自立支援協議会に子ども支援部会を設置
- ・ 自立支援協議会の傍聴を可能に
- ・ 地域生活支援拠点の設置促進

などです。共生社会実現に向けてまだ課題が多くありますが、近隣の自治体も参考に日出町もスピード感をもって対応していく町になるよう引き続き取り組んで参ります。



## 新生児誕生祝金について



Q 1. 新生児誕生祝金が廃止されると聞きました。そもそもこの事業の目的は何だったのですか？

A 1. 事業の目的は「子どもの誕生をお祝いする気持ち」として町が現金を給付していました。より直接必要となる支援に転換します(後述)。



Q 2. いくらもらえていたのですか？

A 2. 第1子に1万円、第2子に2万円、第3子に3万円、第4子以降に5万円です。



Q 3. 誕生祝金が廃止になったらサービスダウンではないですか？

A 3. 単なる廃止ではなく、祝金の財源を活用し2つの事業を行います。  
①今は自費で受けている「産後の母親と新生児の健診」5千円×2回を助成する産後健診助成事業を新たに始めます。  
②残りの財源は、将来、待機児童にならないように、子ども園や放課後児童クラブの増改築費用に活用します。  
誕生祝金廃止はサービスダウンではなく、子育て期に直接必要となる支援に転換し、支援の質の向上を図るものです。



Q 4. 誕生祝金も、産後健診の助成も、施設の増改築も全てやったらいいと思うのですが、なぜやらないのですか？

A 4. 町の財源には限りがあります。その限られた財源の中で、更に住みやすい町づくりを進めていかなければなりません。そのためには、各事業の目的や効果を見極め、より良いものに変えていくことが大切です。町民共有の財産である税金をより有効に活用していくことが、町議会に課せられた責務であると考えています。



遠慮なくお問い合わせください



ホームページ



フェイスブック



このみかとあったか  
子育ての町をつくる会  
tel. 070-1504-7283